

必要な機能の具体化

- 2.1 札幌駅前交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想
 - 2.2 札幌駅前交通ターミナルの整備の方針
 - 2.3 基本コンセプトと必要な機能
 - 2.4 4つの必要な機能を具体化するための要素
-

2. 必要な機能の具体化

2.1 札幌駅前交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想 —札幌駅前（北5西1・西2地区）の整備方針—

【概要】

- ・札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想
- ・北5西1・西2地区の再開発にあたっての整備の基本的な考え方を明確化
- ・令和元年10月31日策定

【開発コンセプト】

世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり

【4つの視点】

街並み形成

道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出

基盤整備

多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節機能の充実とバリアフリー化の推進

機能集積

北海道・札幌の国際競争力をけん引する都市機能の集積

環境配慮・防災

環境にやさしく災害に強い最先端の都心モデルの実現

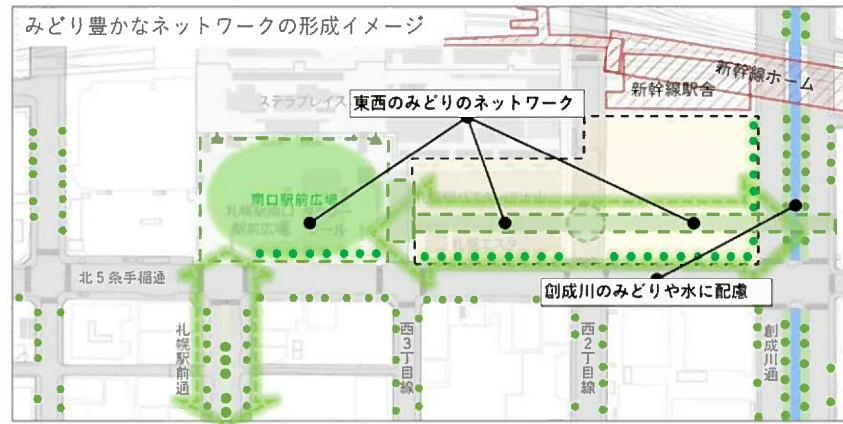
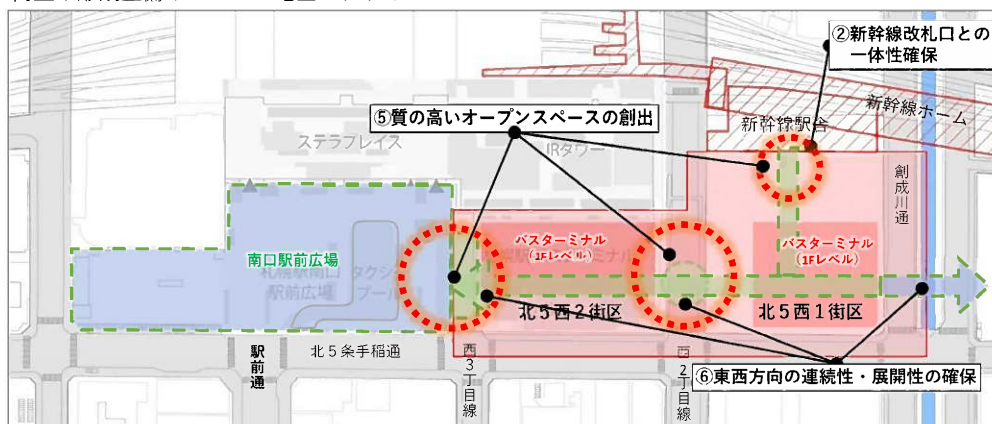
2. 必要な機能の具体化

2.1 札幌駅前（北5西1・西2地区）の整備方針 「札幌駅前交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想」

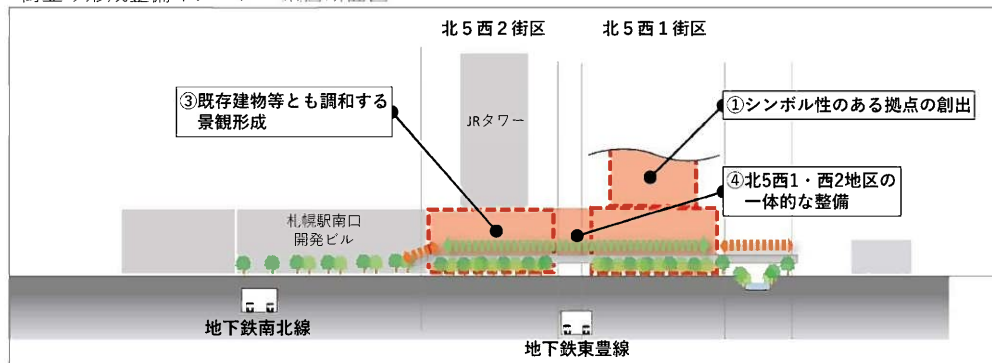
街並み形成 ～道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出～

- ・シンボル性のある拠点の創出（札幌の新たなシンボルとなる拠点を創出）
- ・新幹線改札口との一体性確保（新幹線改札口と再開発建物とが一体感を持つように接続）
- ・既存建築物等とも調和する景観形成（建物低層部の軒高、色彩、意匠等、南口駅前広場や周辺建物との調査に配慮）
- ・北5西1・西2地区の一体的な整備（北5西1、北5西2の一体性確保のため、西2丁目線上空を利用）
- ・質の高いオープンスペースの創出（東西の人の流れを促すオープンスペースを整備）
- ・東西の連続性・展開性の確保（南口駅前広場から創成東地区までにぎわいを波及させる空間を整備）
- ・みどり豊かなネットワークの形成（南口駅前広場から創成川通までの緑化など、みどりのネットワークを形成）

街並み形成整備イメージ 地上・デッキレベル



街並み形成整備イメージ 東西断面図



2. 必要な機能の具体化

2.1 札幌駅前（北5西1・西2地区）の整備方針 「札幌駅前交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想」

機能集積 ～北海道、札幌の国際競争力をけん引する都市機能の集積～

- ・ にぎわい・交流機能の導入
- ・ 北海道、札幌の国際競争力をけん引する国際水準のホテルの導入
- ・ 道外からの本社機能やバックアップオフィスを誘導する高機能オフィスの導入
- ・ 交通施設利用者に対応した待合空間との連携
- ・ 北海道やさっぽろ圏の観光情報を提供する観光案内機能の導入
- ・ 附置義務駐車場等の整備



待合空間とにぎわい・交流機能の連携のイメージ JR東京駅（東京都千代田区）



利便性の高い待合空間のイメージ バスタ新宿（東京都新宿区）

環境配慮・防災 ～環境にやさしく災害に強い最先端の都心モデルの実現～

- ・ 低炭素なまちづくりを先導する拠点としての整備
- ・ 防災機能の確保
- ・ 多様なみどり空間の確保



北海道胆振東部地震の際の状況
(左：札幌駅前通地下歩行空間、中：創世スクエア、右：三井JPビル)

2. 必要な機能の具体化

2.2 札幌駅交通ターミナルの整備の方向性・コンセプト

1. 北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備

・北海道新幹線札幌駅と直結するとともに、駅周辺に分散する都市間・都市内バス乗降場等の集約や、都心アクセス道路との連携強化により、モーダルコネクタ機能の強化を図ります。これにより、全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます。

2. 新たなバスターミナルは、あわせて、以下の機能強化についても検討を進めます

(1) 観光機能の強化

・わかりやすい案内やシームレスな移動を実現し、利用者の利便性・回遊性を向上させ、ICTを活用した観光MaaSも導入しながら、インバウンドを含めた観光機能の強化を図ります。

(2) 防災機能の強化

・帰宅困難者の受け入れ空間や災害時の情報提供機能を確保するなど、防災機能の強化を図ります。

(3) 多様なモビリティとの連携

・シェアサイクルや新たなモビリティ等、多様な交通と連携し、移動利便性や回遊性向上を図ります。

3. 官民連携による計画の具体化

・本整備方針に基づき、民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携で計画の具体化を図ります。

2. 必要な機能の具体化

札幌駅交通ターミナルの整備の方針

ポテンシャル

- 北海道新幹線の札幌延伸 [2030年度末]
- 冬季五輪の招致 [2030年]
- 都心アクセス道路(創成川通の機能強化)の検討



提供: JR北海道

課題

- 都市間・都市内バス乗降場の分散
- 国道5号を含む面的な交通混雑
- 災害時の交通と受入空間の確保



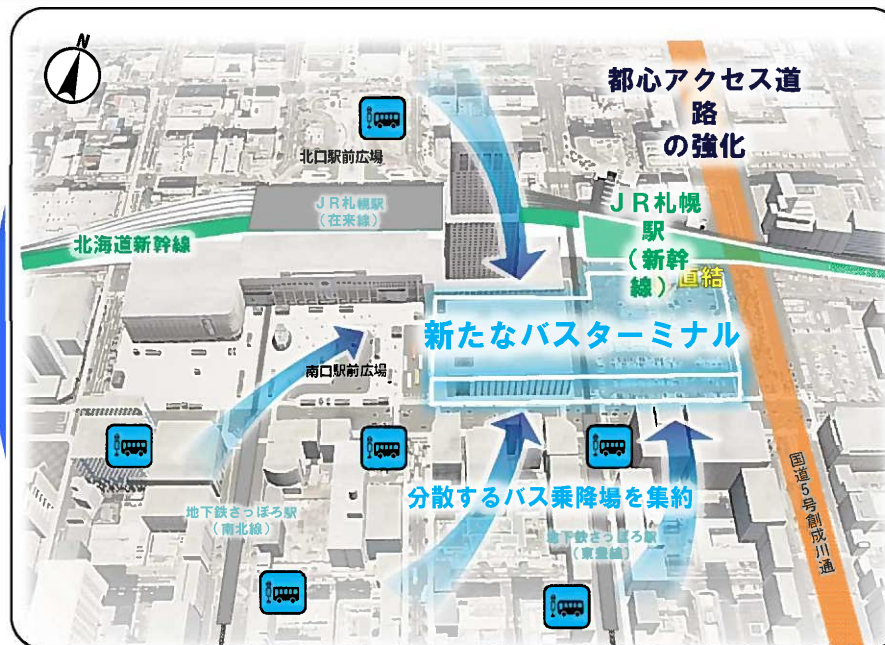
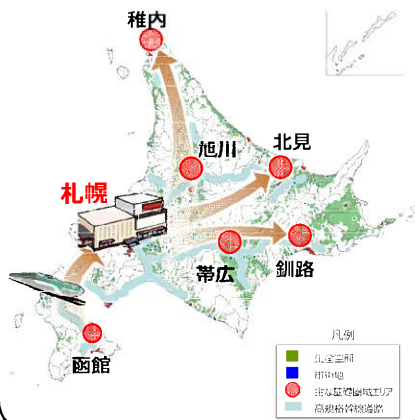
北海道胆振東部地震時の状況
(札幌駅地下歩行空間)

世界とのゲートウェイ・札幌

『北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備』

～全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます～

高速道路と連携した全道各地へインバウンド観光等の新たな人流を創出



① 観光機能の強化

- ・ インバウンドを含む観光案内所の設置
- ・ 観光MaaSの導入 等

② 防災機能の強化

- ・ 帰宅困難者等の受入空間
- ・ 情報提供施設の整備 等

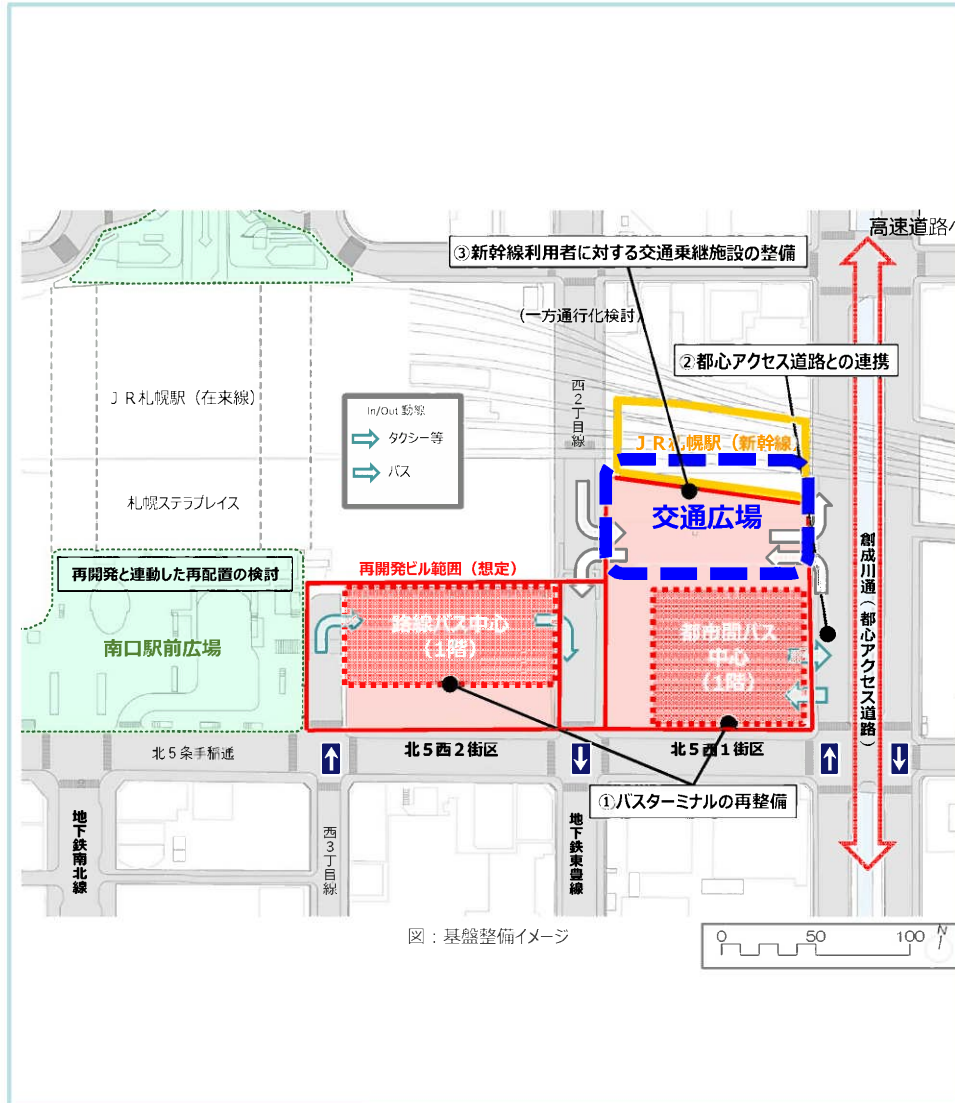
③ 多様なモビリティとの連携

- ・ シェアサイクル
- ・ 新たなモビリティ 等

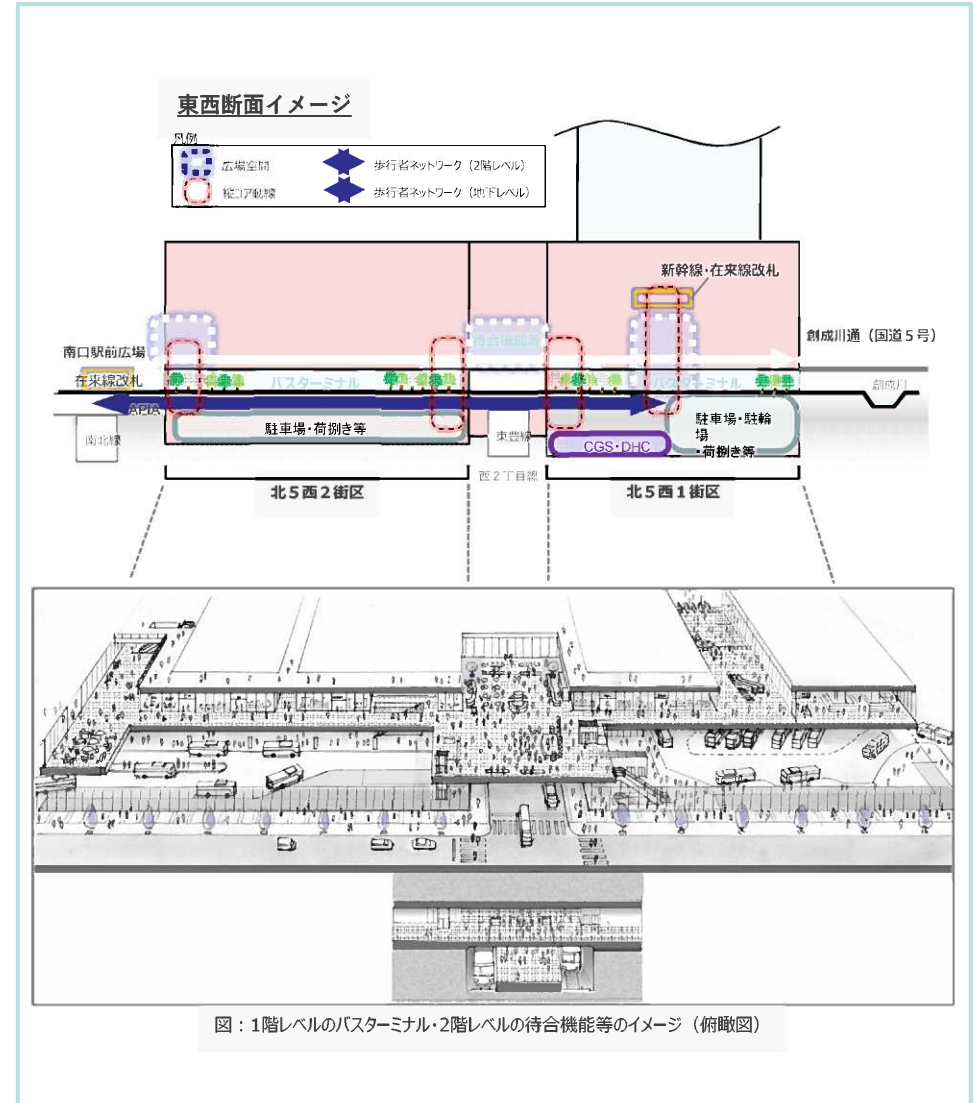
2. 必要な機能の具体化

(参考) 札幌駅交通ターミナルの施設配置イメージ

平面



東西断面



※「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想」(R1.10.31_札幌市)、「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合設立のお知らせ」(R1.11.11_札幌市・JR北海道)より作成
 ※「新幹線札幌駅について」(R2.1.16_JR北海道)の計画変更案(新幹線改札口、交通広場)を反映

2. 必要な機能の具体化

2.3 基本コンセプトと必要な機能

目指す姿	世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり 道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と高次都市機能・交通結節機能の強化
------	--

4つの基本コンセプト	街並み形成 道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出	基盤整備 多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節点機能の充実とバリアフリー化の推進	機能集積 北海道、札幌の国際競争力をけん引する都市機能の集積	環境配慮・防災 環境にやさしく災害に強い最先端の都心モデルの実現
------------	--	---	--	--

地域の課題と将来動向	バス乗降場の分散	冬期の厳しいバス待ち環境	駅周辺地域の交通混雑	タクシーの利便性低下	災害時の交通と受入空間の確保	2030年度末北海道新幹線の札幌延伸	都心アクセス道路の整備	2030年冬季オリンピック招致
------------	----------	--------------	------------	------------	----------------	--------------------	-------------	-----------------

整備方針	世界とのゲートウェイ・札幌 『北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備』 ～全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支える～
	北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備
	多様なモビリティとの連携 観光機能の強化 防災機能の強化
波及効果：高速道路と連携した全道各地へインバウンド観光等の新たな人流を創出	

当検討会では事業計画とりまとめに向けて、整備方針を具現化するために必要な『要素の具体化』を図る

具体化する要素	魅力的な駅前空間の創出	交通拠点形成とモビリティネットワーク	情報空間との連携やイノベーションの受容	持続可能性とまちへの貢献	駅前防災拠点 8
---------	-------------	--------------------	---------------------	--------------	----------

2. 必要な機能の具体化

2.4 4つの必要な機能を具体化するための要素

《具体化する要素》

魅力的な
駅前空間の創出

交通拠点形成と
モビリティ
ネットワーク

情報空間との連
携やイノベー
ションの受容

持続可能性と
まちへの貢献

駅前防災拠点

《検討項目》

○拠点機能の形成

- ・札幌駅周辺全体での
トータルデザイン
- ・新たなモビリティの等の導入

○モーダルコネクトの強化

- ・交流環境
- ・観光ゲートウェイ

○札幌駅周辺の交通円滑化

- ・車両導線

○札幌駅周辺の回遊性の向上

- ・歩行者導線

○災害対応力の向上

- ・平時/災害時の対応環境

《必要な着眼点》

- ・配慮するエリアの設定
- ・創成川公園の延伸、新幹線駅×創成川の軸線
- ・創成川通東側との連続性

- ・将来的な自動運転ビークルや小型モビリティ
等の多様な交通モードの受容空間、
アクセシビリティの確保

- ・分かりやすい案内
- ・シームレスな移動の実現
- ・再開発とあわせた交通マネジメントの検討

- ・国道5号創成川通との最適な接続
- ・バスの最適な運行経路

- ・新幹線、JR・地下鉄等とのシームレスな
乗り換え

- ・帰宅困難者の受け入れ空間
- ・災害時の情報提供機能